

3. 指導の重点

平成28年度

国東市学校教育方針

国東市は、若者や子育て世代の定住促進をめざし、「教育の里づくり」を市政の中核に据えて取り組んでいます。今年度の国東市学校教育方針についてお知らせします。

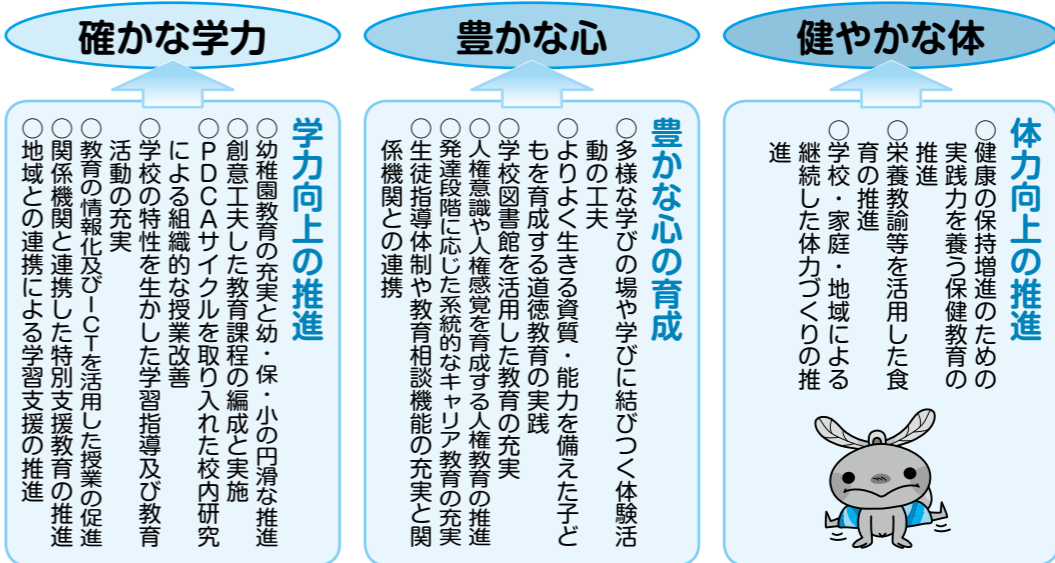
1. 平成28年度の国東市学校教育方針

郷土国東市を誇りとし、夢や希望を抱きながら「確かな学力」と「豊かな心」「健やかな体」を身につけ、主体的にたくましく生きる力をもつ子どもの育成

2. 指導方針

「生きる力」を育む学校教育の推進と連携・協働による学校教育の創造
 ※「生きる力」とは、次代を担う子ども達が、これからの社会において必要となる「確かな学力」・「豊かな心」・「健やかな体」をいいます。

指導の重点



「新しいスタートにあたって」

教育長 加藤 正和

4月、園、小・中学校、高校と、それぞれの入園式、入学式が終了し、子どもたちも、少しずつ新しい学校生活に慣れてきた時期だろうと思います。大人でさえ、しばらくすると新しい生活に慣れてきて、いわゆる「5月病」と呼ばれる不適応行動が起こります。子どもたちには、「学校に行きたくない」とか「勉強がイヤ」などという言動が時として現れます。昨日まではお父さん、お母さんが手を添えてくれていたのに、急に「自分でしなさい!」と言われます。昨日までは一日中しなことをしていても叱られなかったのに、次の日からは時間を区切られ、したいこともがまんしなければならなくなります。私たち大人は、「今日から1年生なんだから」という理屈を言いますが、子どもたちはその理屈を理解できません。子どもたちにとっては、私たちの想像以上に、

この数か月間は緊張と不安の中で生きているのです。「徐々に」ということばがありますが、私たちはすぐに子どもたちを駆り立てます。その結果として、中には「登校渋り」や「不登校」に陥ってしまう例も少なくありません。

マザー・テレサは、「愛情の反対は憎しみではなく、無関心である」と言いました。彼女が言うように、「ほったらかし」ほど子どもにとつてつらいことはありません。しかし、そうかといって、「手取り・足取り」も「子どもの言う通りにさせること」も、親の愛情とは言えません。

新入生に限らず、いつも「これがんばれ、あれもがんばれ!」ではなく、今できていることを「がんばってるね!」と認め、ほめることから始めてはいかががでしょうか。

【問合せ】教育委員会 学校教育課 ☎0978-73-0066



ココろをつなぐまちづくり

人権シリーズ vol.119

『同和問題』について考えるシリーズ』連載企画

そのIV

明治維新の「解放令（賤民廃止令）」は、なぜ差別意識の解消につながらなかったのだろうか？

残されてきた「差別意識」

日本の夜明け「明治維新」。封建社会からの脱却により、身分制度は廃止され、誰もが明るい希望に満ちた未来を想像していた。それなのに、なぜ部落差別は残されてきたのだろうか？

新たな差別意識を生み出した明治政府

ここに、明治政府のとった主な政策を列挙してみましょ。

- 「殖産興業」多様な産業の育成・保護による資本主義化
- 「富国強兵」徴兵制・日清戦争（明治27～28年）
- 日露戦争（明治37～38年）
- 「封建制の廃止」華族・士族・平民・職業・結婚の自由

▼1871年（明治4年）

「斃牛馬勝手処理令」

死牛馬を所有者が勝手に処理してもよい（それまで、処理する権利は、賤民身分のみのものであったのに）

4月 廃藩置県による戸籍法の制定

※「賤民」は別枠とする作成指示

8月 「解放令」（賤民廃止令）
 「穢多・非人等の名称を廃し、身分・職業とも平民同様とする」

● 政府のねらい 国の財源確保政策の一環である地租改正のための部落制度解体が目的で、被

差別民の解放が目的ではなかったのではないかと近年言われてきている。

しかし、この「解放令」は、一般民衆にとっては青天の霹靂である。素直に受け入れられない。↓解放令反対一揆（西日本では20件以上、被差別部落を襲撃、死傷者を出す。）

▼1872年（明治5年）

「壬申戸籍」

「解放令」により旧身分を記載せよとの指示はなくなっていたのに、賤民身分が明記された。↓そのわけは、

※「解放令」以前（明治4年4月）に身分別戸籍として企画され、準備に入っていたから。
 ※戸籍作成に携わった者の差別的意識・意図から。

8月 「学制発布」

地区に根付いた寺子屋とは違い、一方的に持ち込まれた。学区の編成で被差別部落を閉め出した所もある。いくつかの被差別部落では、独自に「部落学校」を開校した。

その他神社祭礼参加への締め出し等々、百姓・町人と「賤民」との関係、あるいはそれを内包する地域社会の構造は、明治以降も日本に引き継がれた。

貧困化により差別意識がより強まる

●「斃牛馬勝手処理令」により皮革等の専売権を失う。
 ● 新たな警察制度の導入により、警備の仕事

第9回国東市隣保館まつり

「いっしょの川柳」

課題《まつり》応募作品

じいちゃんも 子どもにもどる祭りの日

国東町 重 吉 喜一郎

夏まつり彼女の浴衣チラ見する

武蔵町 も